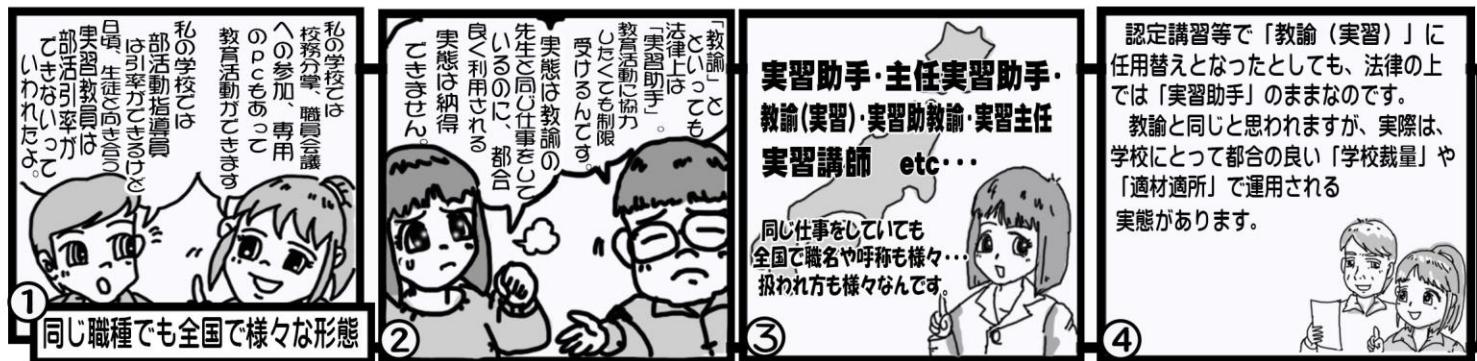


# 矛盾した教育現場をよくするために改善を求めよう!



文部科学省は「各学校の実情に応じて配置をお願いしている」と答弁しますが、現実は違います。専門性を生かした配置や配慮が無いばかりか、技術の専門性を磨くことや継承ができない職場環境が全国的に多々あります。人事異動によって「マイナス人事だった」との報告も多々あります。また近年、ICT教育に対応すべく、メンテナンス等の業務に充てられる事例が増えています。また教育予算の減額によって全国的に実験・実習教育が衰退してきています。「五感」を使った学びは、子どもたちの成長において大切な要素です。豊かな実験・実習教育を守っていきましょう。



職務規定では「実験または実習について、教諭の職務を助ける」とあり、実験・実習の教科のみに関わって助けるとされています。

しかし、この「教諭の職務を助ける」、「助手」という言葉から、教育委員会や管理職、職場の教員、生徒や訪問した企業先などから恣意的、あるいは狭義的に解釈され、補助的業務に位置づけておくべき「職種」と誤った判断により差別的扱いを強いられています。

# だから制度改革が必要なんです

教育環境や条件が刻々と変わる今日「どの子にもゆきとどいた教育」の充実に向けて!

こういった声が寄せられています！



署名にご協力ください！

